

ロジザード株式会社

2023年6月期第1四半期 決算説明資料



目次

- 01 23年6月期 第1四半期 事業環境 P2 - P5**
 - 02 23年6月期 第1四半期 施策振り返り P6 - P15**
 - 03 23年6月期 第1四半期 決算概要 P16 - P20**
-
- Appendix P21 - P24**

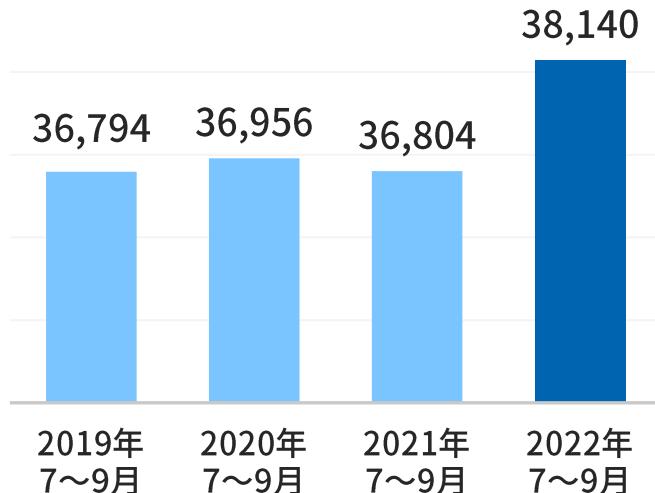
01 23年6月期 第1四半期 事業環境

23.6期 第1四半期 事業環境

- ▶ ロシア・ウクライナ情勢：間接的に資源価格上昇・物価高等、影響は長期化。
- ▶ 新型コロナウイルスの影響：徐々に以前の状態を取り戻してきている。
- ▶ 小売業全体販売額：前年比増加、コロナ前水準でも増加。
- ▶ 実店舗販売：顕著に復調傾向。
- ▶ 無店舗小売業（通販）販売額：前年比で横ばい。

小売業全体販売額

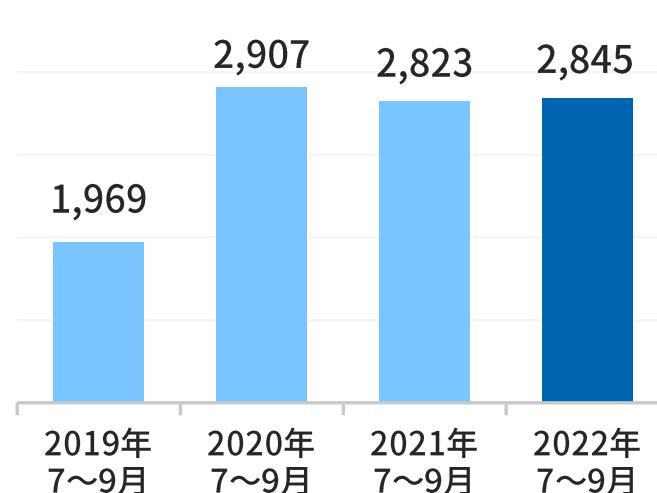
(単位：十億円)



出所：経済産業省HP「商業動態統計 業種別商業販売額」

内、無店舗小売業（通販）販売額

(単位：十億円)



出所：経済産業省HP「商業動態統計 業種別商業販売額」

今後の事業環境見通し

- ▶ 新型コロナウイルスの流行
 - Withコロナの新常態を前提とした市場対応が求められると推察
 - ECのみではなく、実店舗もシームレスに統合するOMOマーケティングへ進化・発展
- ▶ ロシア・ウクライナ情勢の長期化
 - 間接的に資源価格上昇・物価高・円安等、消費行動にも影響が出ると推察
 - 燃料価格の高騰による配送料上昇が想定され、お客様への影響を及ぼす可能性
- ▶ 物流業界の人手不足問題は現実化
 - 効率化・倉庫自動化の機運を後押し



引き続き、メインターゲットは倉庫・3PL企業

新常態へ対応する流通業界の変化へ、物流業界がこの対応に取り組むことを支援する機能やサービスニーズに積極的に対応する

当社事業面への影響

- ▶ 新規受注とのリソースコントロールを行ないながら、EOS(エンドオブサービス)の対応を中心に進めた。
- ▶  引き合いは前年同期比で増加。実店舗を含めた在庫一元管理ニーズのある準大手以上規模の引き合いが多い。



アカウント積み上げスピードの維持・増加、さらなる引き合い獲得のため、積極的に人材投資を行なう
- ▶   Withコロナの新常態を意識した小売業界・物流業界がECのみならず多様な物流ニーズに対応する中で引き合いが増加。



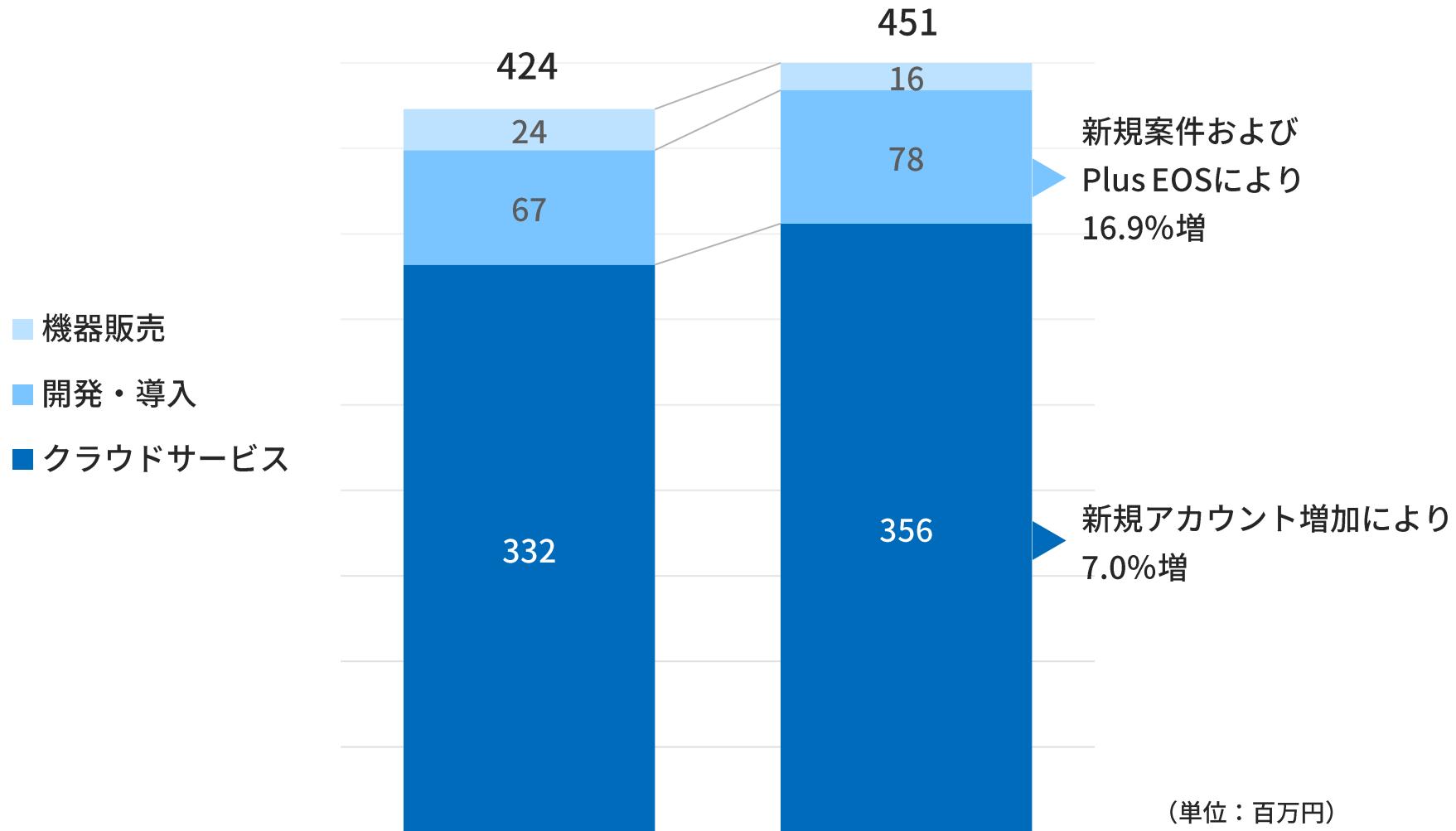
これらのニーズが今後も増加してくると推察し、23.6期下期以降にさらなる成長を果たせるよう人員の増加・製品投資を先行して対応する

02 23年6月期 第1四半期 施策振り返り

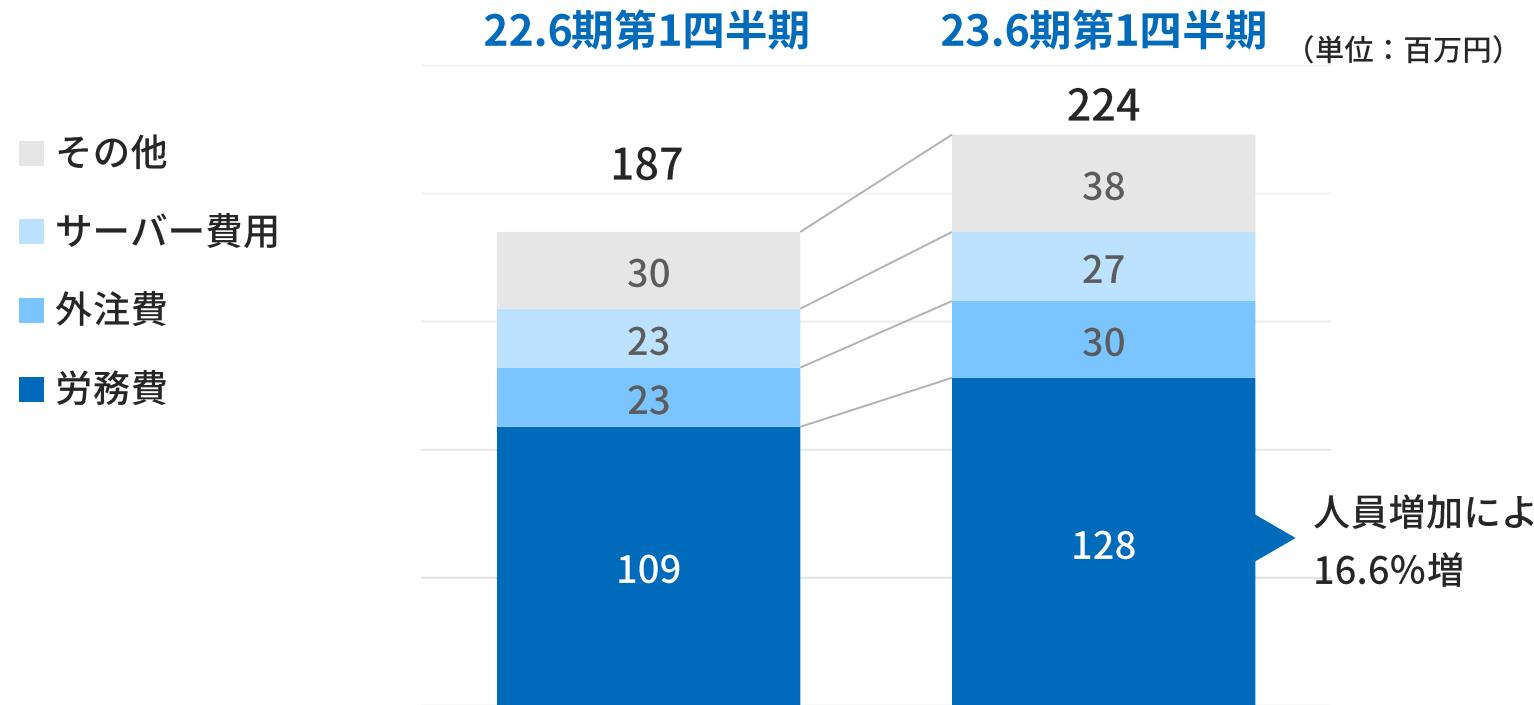
売上高増減の明細

22.6期第1四半期

23.6期第1四半期



主要な売上原価増減の状況



製品開発への投資状況

23.6上期はEOS（エンドオブサービス）に注力。

(単位：百万円)

	22.6期第1四半期	23.6期第1四半期	増減
ソフトウェア仮勘定 (BS)	12	7	-4
研究開発 (販管費)	10	7	-3
合計	22	14	-7

主要な販売管理費増減の状況

22.6期第1四半期

23.6期第1四半期

158

142

- その他
- 研究開発費
- 広告宣伝費
- 支払手数料
- 人件費

56

10

8

22

49

55

7
9

32

62

採用費等の増加に伴い
42.3%増

人員増加に伴い
25.7%増

(単位：百万円)

製品施策の進捗状況

23.6期第1四半期までの取り組み

01

人手不足解消のための
省力化と自動化

- ▶ AI物流ロボット連携



- ▶ RFIDオプション機能化※



02

OMO対応
(Online Merges with Online)



03

新たな物流トレンド
への対応

- ▶ 自動連係実績



※ RFID ... Radio Frequency IDentification (近距離無線通信を利用した自動認識技術) の略。

販売プロモーション活動



オンラインセミナー開催

テーマ別のセミナーで情報を発信。

Q1では「ロジザード物流×オムニチャネルパネルディスカッション2022」を開催。

<https://www.logizard.co.jp/seminars/>



ロジDXの一歩に、WMSの導入。リプレイスをご検討の方必見
物流DXが急務になった背景と
今後求められるWMS

INDEX

- 物流DXとは
- 物流DXが急務となった3つの背景
- なぜ日本国内の物流DXは進まない?
- 物流DXを実現するための課題
- 物流DXを実現するためには
- 物流DXを実現する。今後求めらるWMSとは
- コラムにご登場いただいた物流コラム担当小島氏

LINKTH × ロジザード株式会社

ホワイトペーパー、コラムにて情報発信

物流に課題を抱える方々に情報を提供。

<https://www.logizard.co.jp/news/2022/07/wp-dx02.html>

<https://www.logizard-zero.com/columns/>



今後の方針

引き続き、積極的にセミナー開催やホワイトペーパー、Web広告による認知度向上を進めていきます。

これらのセミナーは、株主様・投資家様もご参加可能ですので是非ご参加ください！

<https://www.logizard.co.jp/seminars/>



EOS（エンドオブサービス）の進捗状況

- ▶ ほとんどの案件は、予定通り23.6期上期までに納品が完了する見込み
- ▶ 一部案件で想定を超える作業が発生した影響で、開発導入サービスの採算が悪化
→お客様の事情で作業が後ろ倒しになり、効率が低下したことによる特殊事情
- ▶ 第2四半期も新規受注とリソースコントロールしながら対応を進める

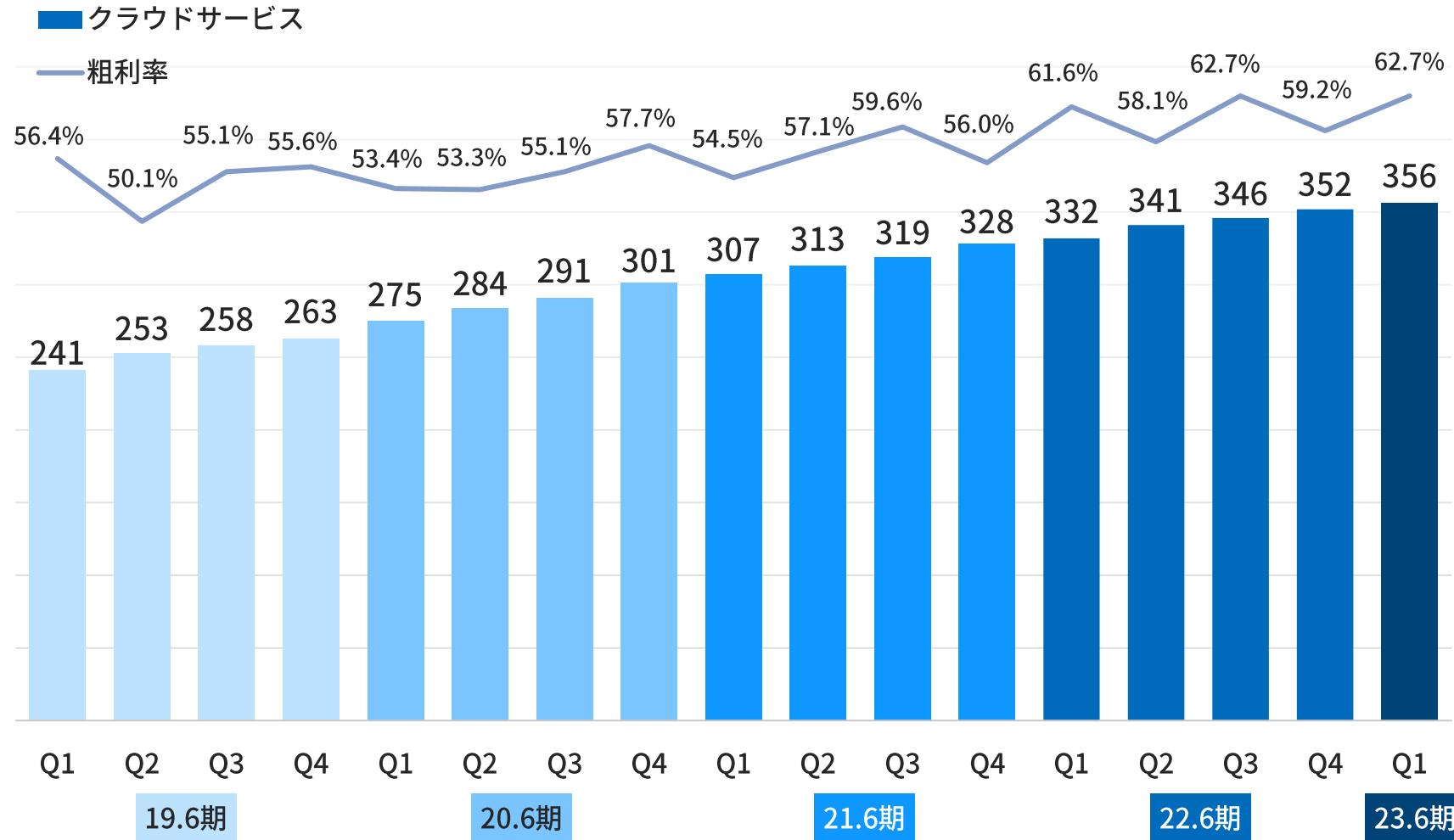


サービス終了：2023年1月

クラウドサービス売上高推移

月額利用料の積み上げは順調、粗利率も引き続き遞増傾向

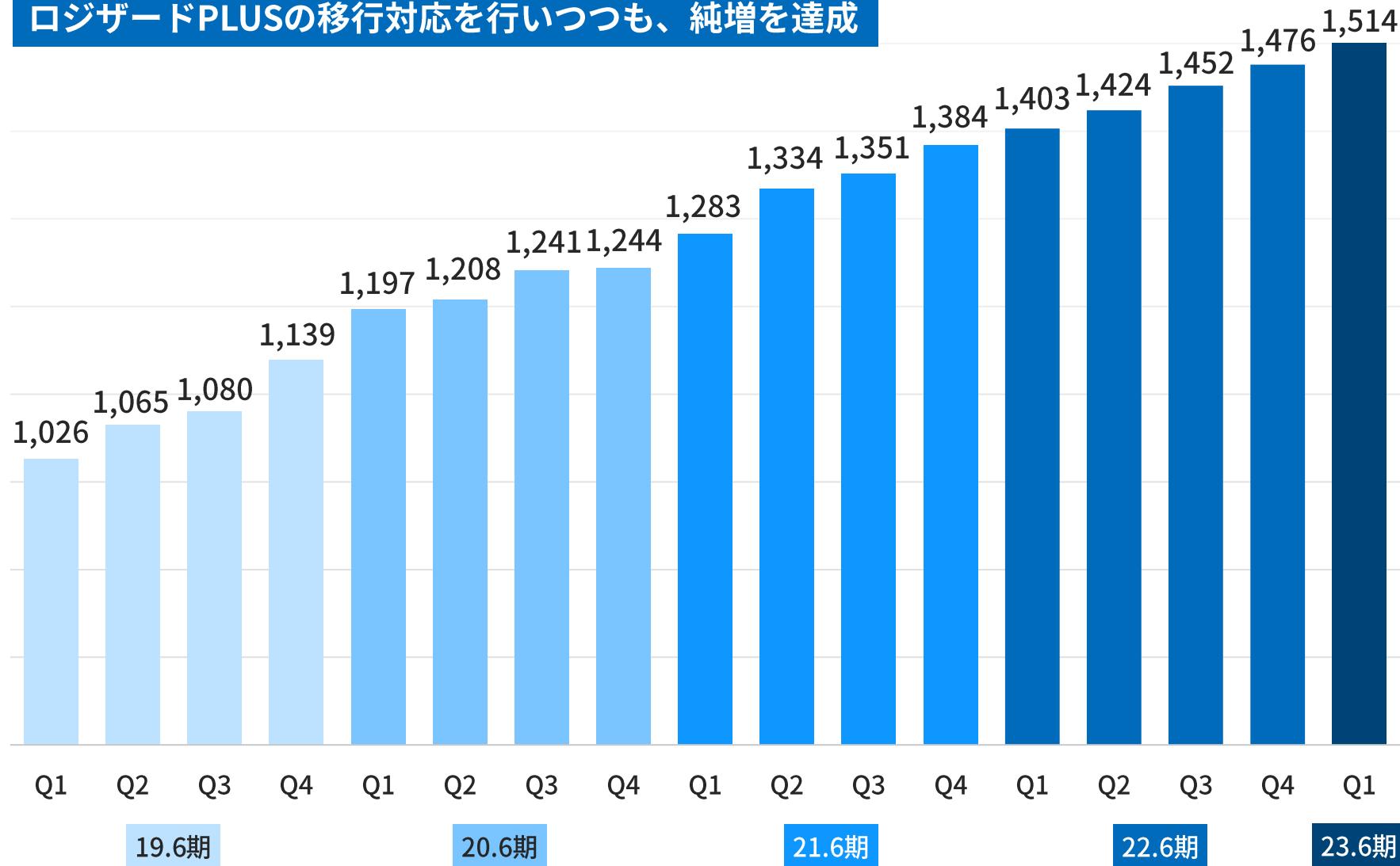
(単位：百万円、%)



アカウント数の推移

(単位：件)

ロジザードPLUSの移行対応を行いつつも、純増を達成

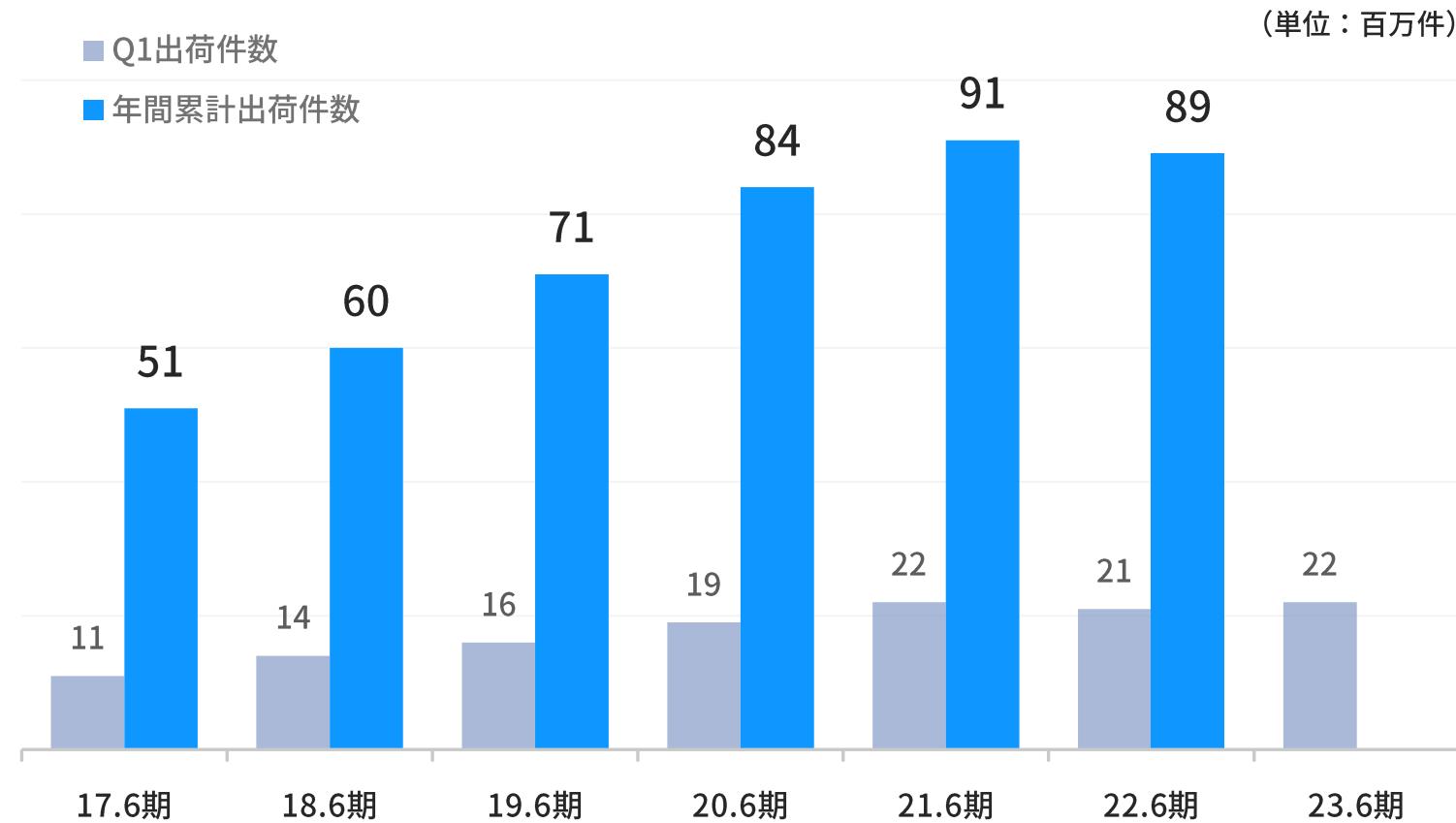


弊社システムからの出荷件数

出荷件数は前年比3%の増加。

一方で、1出荷あたりの商品点数の顕著な増加で、点数ベースで前年比17%増加となり、配送コストを意識した集約化が見られる。

点数ベースから消費の復調傾向が裏付けられる。



03 23年6月期 第1四半期 決算概要

通期予想に対する達成率

- ▶ クラウドサービスは、順調な積み上げを果たし、計画よりも前倒しで進捗。
- ▶ 売上原価は、サーバー費用を中心に見込みよりも少なく推移。

(単位：百万円、%)

勘定科目	23.6期第1四半期実績		23.6期通期予想		達成率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	451	100.0%	1,824	100.0%	24.8%
クラウドサービス	356	78.9%	1,415	77.6%	25.2%
開発・導入サービス	78	17.4%	350	19.2%	22.4%
機器販売サービス	16	3.8%	58	3.2%	28.8%
売上原価	224	49.7%	950	52.1%	23.6%
売上総利益	227	50.3%	874	47.9%	26.0%
販売費及び一般管理費	158	35.0%	675	37.0%	23.4%
営業利益	69	15.3%	199	11.0%	34.7%
経常利益	69	15.3%	199	11.0%	34.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	50	11.2%	139	7.6%	36.3%

損益の状況

(単位：百万円、%)

勘定科目	22.6期第1四半期		23.6期第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	424	100.0%	451	100.0%	27	6.4%
クラウドサービス	332	78.4%	356	78.9%	23	7.0%
開発・導入サービス	67	15.8%	78	17.4%	11	16.9%
機器販売サービス	24	5.8%	16	3.8%	-7	-30.8%
売上原価	187	44.2%	224	49.7%	36	19.7%
売上総利益	236	55.8%	227	50.3%	-9	-4.1%
販売費及び一般管理費	142	33.5%	158	35.0%	15	11.1%
営業利益	94	22.3%	69	15.3%	-25	-26.8%
経常利益	94	22.3%	69	15.3%	-25	-26.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	59	14.1%	50	11.2%	-9	-15.4%

財政の状況

勘定科目	22.6期末	23.6期 Q1末	増減額
流動資産	1,575	1,511	-63
固定資産	255	247	-8
有形固定資産	32	32	0
無形固定資産	178	170	-8
投資その他資産	44	44	0
資産合計	1,830	1,758	-72

流動資産減少要因

前期の未払法人税等、未払賞与及び配当金を支払ったことにより現金及び預金が減少

固定資産減少要因

減価償却費の計上によりソフトウェアが減少

勘定科目	22.6期末	23.6期 Q1末	増減額
流動負債	292	217	-75
固定負債	0	0	0
負債合計	292	217	-75
純資産	1,537	1,540	3
株主資本	1,537	1,540	3
その他の包括利益 累計額	0	0	0
負債純資産合計	1,830	1,758	-72

流動負債減少要因

前期の未払法人税等及び未払賞与を支払ったことにより減少

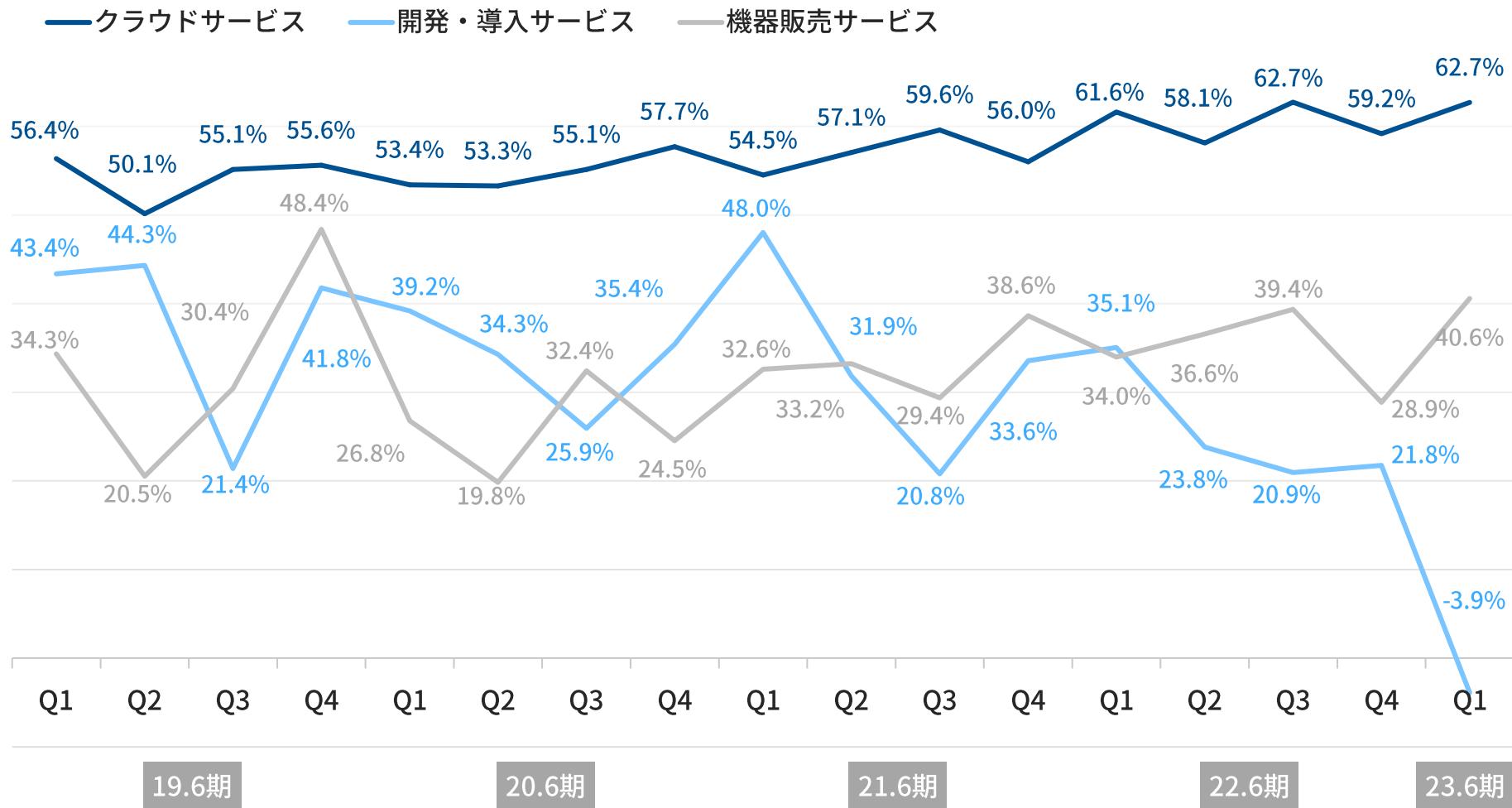
純資産増加要因

親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加

サービス別粗利率の推移

クラウドサービスの粗利率は順調に遞増効果を發揮

一方で、開発・導入サービスはEOSの個別案件の影響で一時的に粗利率低下



Appendix

弊社IRのご紹介

業績やIRニュースをご提供しています。

IR情報ページでご覧いただける主な情報

- ▶ IRニュース
開示した最新情報を掲載。
- ▶ 経営情報
トップメッセージや会社概要を掲載。
- ▶ 業績・財務情報
過去4年間の主要な経営指標の推移を掲載。
- ▶ IRライブラリ
決算発表関連資料、有価証券報告書等のIR資料を掲載。
- ▶ IRカレンダー
決算の開示予定や株主総会の日程を掲載。

IRに関するお問い合わせは[コチラ](#)▶



IRサイト：<https://www.logizard.co.jp/ir/>

IR information
IR情報

IRニュース

2020/03/02	IR資料	2020年2月18日(火)に開催いたしましたアーリスト向け決算説明会の書き起こし記事を掲載いたします。(SCRIPTS Asia社 提供)(2MB)
2020/02/26	IR資料	個人投資家向け決算説明会 中止のお知らせ(80KB)
2020/02/18	IR資料	2020年2月14日(金)に開催いたしました個人投資家様向けオンライン決算説明会の動画を公開いたします。(↗)
2020/02/17	IR資料	2020年2月13日(木)に開催いたしましたアーリスト様向けオンライン決算説明会の動画を公開いたします。(↗)
2020/02/13	決算表示	四半期報告書 第20期第2四半期(令和1年10月1日～令和1年12月31日)(113KB)

IR情報

- IRニュース
- 経営情報
- 業績・財務情報
- IRライブラリ
- 株式情報
- IRカレンダー
- FAQ
- 電子公告
- ディスクロージャーポリシー
- 免責事項
- IRに関するお問い合わせ

[IR NEWS一覧へ](#)

弊社IRのご紹介

四半期ごとに
オンライン説明会を開催しています。



画像をクリックいただくと、前回開催の説明会内容をご覧になれます。



弊社YouTube
チャンネル

オンライン説明会の内容は、順次、YouTubeにアップしております。
また、過去の開催内容も掲載しております。



弊社IRに関する
お問い合わせフォーム

オンラインへの参加申し込みは、IRに関するお問い合わせフォームに
説明会参加希望の旨をご記入ください。

本資料の取り扱いについて

- ✓ 本資料には、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載が無い限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ✓ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ロジザード株式会社
(証券コード4391)

東京都中央区日本橋人形町三丁目3番6号
URL : <https://www.logizard.co.jp>
Tel : 03-5643-6228



弊社HP